


福島小学校だより

ふくしま

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

No. 10

令和4年1月31日



二月は逃げる 三月は去る

2月3日は冬と春の季節の変わり目「節分」です。そして、2月4日は、二十四節気の「立春」です。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日は続きます。よく「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われますが、3学期はあっという間に過ぎていきます。令和3年度も残すところ2か月となりました。学習、生活のまとめをしっかりと行っていきたいと思ひます。

節目を生かす

さて、今月は、「竹」についてお話したいと思ひます。日本を代表する竹は、雪の重みにも強い風雨にも耐え、たくさんの節目をもって、空に向かってまっすぐに成長します。風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに、何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さを持っている竹です。そのたくましさの秘密は、軽さと強さをあわせ持つ規則正しい間隔の節目にあるとされます。そのような力を持つ竹は、種から発芽するまでに4年以上かかり、その間に地下で1年間に7～8メートルもの根を張って地上の竹を支える準備をすといわれます。やがて芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもつことで10日で数十cm近く成長し、2か月弱で20mにもなります。

目に見える成長の姿とともに、目には見えない支える力のバランスは、私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。

節を作り、外からの多くの力をしなやかに、力強く受け止め成長する姿は、子どもたちが目標に向かってがんばろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。あわせて学びの過程で、目に見える行動や成果だけでなく、それらを支える外からは見えない心の葛藤とともに、努力の大切さや自分を支えてくれる周りへの感謝の心を教えてくれます。

まっすぐな心をもって、たくましく育ててほしいと願うのは、だれもが望む子どもの姿です。子どもたちが、それぞれの成長の節目（入学、進級、卒業もそうです）においてめあてをもって進み、振り返ることの積み重ねが、しなやかさと力強さの基となる節目を築き、これから先出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源となることと信じています。

校長 中村祐佳子

2月の学校行事予定です。

1(火)交通・挨拶指導 新入児入学説明会 14:30～	11(金)建国記念の日	3月の主な予定 18(金)卒業式 24(木)終業式 31(木)離任式
2(水)クラブ(3年見学) 延期	14(月)スクールカウンセラー来校	
3(木)集金日①	15(火)ALT来校	
4(金)集金日② キャリア教育(6年1・2限 5年3・4限)	16(水)漢字の博士試験	
	23(水)天皇誕生日	

～冬休み俳句コーナー～

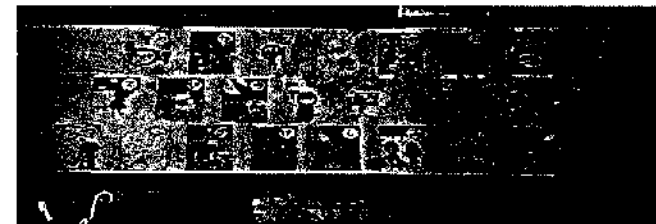
2学期の終業式に「冬休みは楽しいことがいっぱい。年末年始は、日本の文化に触れる機会もあります。心に浮かんだことを、五七五の俳句にしてみてください。」と話したら、ほとんどの子どもたちがつくってくれました。紹介します。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 初日の出 太陽今年も よろしくね (6年) | ねんがじょう 遠くの友達 元気かな (6年) |
| 湯豆腐で 家族団欒の あたたかさ (6年) | お正月 炬燵に入る 猫の顔 (6年) |
| クリスマス 星に願いを 夢叶う (6年) | 初もうで 雪をふむ音 なりやまず (6年) |
| 冬がきて ふとんあったか 出られない (6年) | サンタさん 毎日きてね わたしんち (5年) |
| 大そうじ もちものせりり たいへんだ (5年) | お年玉 何を買おうか まよってる (5年) |
| お年玉 あげたら喜ぶ 孫の顔 (5年) | 大そうじ おへやピカピカ いい気持ち (4年) |
| 朝おきて まどをあけたら 銀世界 (4年) | お餅つき あつあつこねて おいしいな (4年) |
| 白い息 みんなぶるぶる さむい朝 (4年) | ならんだぞ ケーキほしさに 30分 (3年) |
| じよやかなね 今年一年 ふりかえる (3年) | トナカイも 大いそがしな クリスマス (3年) |
| はつもうで かねをならそう 元気よく (3年) | 冬休み 元気であそぼ さむいけど (2年) |
| しまいに かまれてうれしい お正月 (2年) | ほっぺたが おもちみたいだ ぼくの顔 (2年) |
| すきやきの おにくばかりを みてしまう (1年) | お正月 おきものをきて はつもうで (1年) |
| ふゆのひに こたつでぬくぬく あったまる (1年) | とらのとし ちからをつける ことしだよ (1年) |

読んでみると、子どもたちの顔が浮かんできて楽しくなりました。中には、クスッと笑えるような言葉のチョイスをしている子も！

それぞれの学年の国語の教科書には、「季節の足音」のページがあり、親しみやすい詩や、俳句、短歌が載っています。低学年では、昔話や神話、中学年では、俳句や百人一首、高学年では、古文漢文に親しみ、俳句や短歌を自分でつくる單元もあります。音楽の時間にも、日本の昔からの唱歌を勉強して歌いますよね。

2学期、4年生は百人一首の世界に触れ、好きな一首を増唱しました。3学期、1年生や3年生は自分たちで作ったかるたで遊びました。今玄関には3年生のかるたが掲示されています。よく考えられていて素敵です。



～3年生の作品～

冬至のころは日が暮れるのが早かったですが、だんだん日が長くなってきているのを感じます。少しずつ春が近づいている気配が、これからあちこちに感じられるようになってきます。季節を感じる美しい日本の言葉にたくさん触れ、季節の移り変わりを敏感に感じ取り、昔の人の生活に思いをはせながら、人の生き方を考えていくような細やかな感性を、子どもたちから育てていきたいと思ひます。